

特別調査：水道水の評価とイメージ／熊本市

良質で豊富な地下水資源に恵まれ、水道水のすべてが地下水でまかなわれている熊本市。ミツカン水の文化センターでは、熊本市では水道水に対する意識が他の地域と異なるのではないかと予測し、同市在住の20～60代の男女469名を対象に特別調査を実施しました。その結果、「日本一の地下水都市」といわれる熊本市民の水道水に対する“誇りと愛着”が浮かび上がりました。

なお、ミツカン水の文化センターの機関誌『水の文化』35号(2010年6月)で、水にかかわる恵みを再発見する旅、「アクアツーリズム(水 環考)」を特集し、「熊本市の水」に関する記事を掲載しています(http://www.mizu.gr.jp/kikanshi/mizu_35)。

Q.水道水を10点満点で評価すると？ (0～10の整数を自由回答)

Q.水道水について不満を感じていることは？ (8択+その他+特に不満はない)

◇熊本市民の平均8.39点、10点満点は約3割

◇半数以上が「特に不満はない」

熊本市民の水道水に対する評価は平均8.39点。10点満点をつけたのは約3割(30.7%)でした。東京・大阪・中京圏(10.2%)と比較すると、約3倍に相当します。

また、熊本市民は半数以上(52.5%)が「水道水に特に不満はない」と回答。東京・大阪・中京圏(33.7%)よりも20ポイント近く(18.8ポイント)高く、熊本市民の水道水への満足度の高さが分かります。

